

総論

満点	90点	目標得点	70点	試験時間	90分	偏差値	政治:75 国際政経/経済:74
大問数	5	小問数	29				
	【解答形式】	選択式	28/29問	記述式	0/29問	論述式	1/29問
	【問題難易度】	C	2/29問	B	14/29問	A	13/29問
※問題難易度：C難問、B合否を分ける問題、A正答すべき問題、を示す							

Topics

- 1：メインは論旨明快な読解問題3題。2000語を越える英文を処理できるかが合否の分かれ目。
- 2：去年に引き続き、自由英作文（100語程度）が出題された。逆に日本語による記述問題はゼロ。
- 3：悪問・奇問の類は一切なし。基本的な力をどこまで磨いているかの勝負。

こんな力が求められる！

OSレベルで鍛えられている人なら十分に対応できるだろう。ただ、Advancedレベルでもテキストに本当に習熟していれば、合格点をとれるはずだ。最も求められているのは速読力。速読力をつけるにあたって効果的なのが音読である。声に出して読むということは、左から右に文字が流れていく英語の呼吸をマスターすることであり、日本人が陥りがちな「返り読み」の癖を矯正することができる。お茶ゼミのテキストに掲載されている問題を週に15回は音読したい。本学部受験ではマニアックな単語や文法の知識は全く必要とされていない。そもそもいわゆる文法問題は出題されない。文法に関しては「読解や英作文にどう活かすか」という視点で文法を学ぶ必要がある。

大問別分析

【I】

予想配点	22 / 90点	時間配分の目安	22 / 90分
出題内容	長文 【Word数】713語 【『でか単』『完熟』レベル】『でか単』『完熟』共にPART2 【長文テーマ】メディア・IT技術 【長文内容】韓国の OhmyNews を例にとり、インターネットの進化によってジャーナリズムがどのように変化しているのかを伝えている。		
出題形式	内容一致文完成・整序英作・文整序・空所補充（選択）		
小問別難易度	※問題難易度：C難問、B合否を分ける問題、A正答すべき問題、を示す 1 A    2 A    3 A    4 A    5 B    6 A    7 B    8 B    9 B		
お茶ゼミカリキュラム・テキストとの関連	OSレベル。ただし、Advancedでもテキストの事項をマスターしていれば十分対応できる。		

●解答のポイント&学習対策等

英文も設問も素直なので、合格者ならほぼ全ての問題に正解するだろう。（自己採点したい人のために、予想配点を記しておく。5と7が各4点、残りが各2点）

やや難しいものを挙げれば、5の整序英作。conventional「従来の」、cover「～を取材する」といった単語の知識が身についているかどうかの勝負。

# Benesse® お茶の水ゼミナール

もうひとつ難しかったのは7の文整序。文整序問題の解法については高3の後期に解説する。ここで簡単に言及しておく、①論理関係を表す語句（シグナルワードやマーカーと呼ばれるもの。例えば、but や for example）、②指示語、の2つをチェックすることが重要である。この問題では、(a)の meanwhile が①にあたり、(b)の In this way、(d)の they が②にあたる。ここに着目することができれば、正答はそれほど難しくない。最近の本学部は文整序の出題頻度が高いので、練習を積んでおく必要がある。

## 【Ⅱ】

<b>予想配点</b> 20 / 90 点	<b>時間配分の目安</b> 22 / 90 分
<b>出題内容</b> 長文 〔Word数〕841語 〔『でか単』『完熟』レベル〕『でか単』『完熟』共にPART2 〔長文テーマ〕教育 〔長文内容〕アメリカの大衆科学誌の記事からの抜粋で、とても賢い子供をどのように教育すべきかが論じられている。	
<b>出題形式</b> 内容一致文完成・整序英作・文整序・空所補充（選択）	
<b>小問別難易度</b> ※問題難易度：C難問、B合否を分ける問題、A正答すべき問題、を示す 1 B 2 A 3 B 4 B 5 A 6 A 7 B 8 C	
<b>お茶ゼミカリキュラム・テキストとの関連</b> OSレベル。ただし、Advancedでもテキストの事項をマスターしていれば十分対応できる。	

### ●解答のポイント&学習対策等

【Ⅰ】と比べると英文はずっと難しいが、設問は素直なものが多いので、合格するためには8割得点したい。(4と8が各4点。残りが各2点)

ここでも少し難しかったのが4の文整序。【Ⅰ】の解説で述べたような解法を身につけていれば解けるだろう。(d)の Two central approaches が論理関係を表す語句、(b)の these が指示語である。

最も難しかったのは8の整序英作である。まず、空欄の前後を読んで気づかなければならないのは、前の described が過去形ではなく過去分詞ではないかということ、そして、直後の most が are の主語になる名詞ではなく副詞ではないかということ。その2点に気づけば、あとは接続詞 that や関係代名詞 what の基本的な使い方がわかっているかどうかの勝負である。本学部では文法問題や和訳問題は出題されないが、文法知識や英文の構造を分析する力は、例えばこのような形の問題で厳しく問われているのである。間違っても、そのような力の習得をおろそかにしてはいけない。

## 【Ⅲ】

<b>予想配点</b> 18 / 90 点	<b>時間配分の目安</b> 25 / 90 分
<b>出題内容</b> 長文 〔Word数〕960語 〔『でか単』『完熟』レベル〕『でか単』『完熟』共にPART2 〔長文テーマ〕犯罪 〔長文内容〕イギリスの刑務所収監者の増加と犯罪率の上昇をからめて論じている。	
<b>出題形式</b> 内容一致文完成・整序英作・文整序・空所補充（選択）	
<b>小問別難易度</b> ※問題難易度：C難問、B合否を分ける問題、A正答すべき問題、を示す 1 A 2 C 3 B 4 A 5 A 6 B 7 B	
<b>お茶ゼミカリキュラム・テキストとの関連</b> OSレベル。ただし、Advancedでもテキストの事項をマスターしていれば十分対応できる。	

# Benesse お茶の水ゼミナール

## ●解答のポイント&学習対策等

【Ⅱ】と同じく英文のレベルは高いが、設問は素直なものが多い。合格するためには8割得点したい。(2と6が各4点。残りが各2点)ただ、語数が【Ⅱ】と比べて長いし、この大問を解いている頃は頭脳の疲労もたまっているだろう。短い文をじっくり読むトレーニング、そして、長い英文を速く読むトレーニングをどれだけやってきたかが問われる。これはどちらも苦しい。英語は暗記科目と割り切って、イディオムや文法の暗記ばかりやるほうが楽かもしれない。しかし、そのような勉強だけでは本学部の問題を解くことはできないだろう。常日頃から、頭をフル稼働させて読解をする訓練が必要である。

ここでも難しいのは文整序と整序英作だ。まずは2の文整序だが、これも【Ⅰ】で述べた解法を使えば解ける。(c)の Instead が論理関係を表す語句、(a)の such、(b)の them が指示語だ。

次に6の整序英作。count as ～「～とみなされる」というイディオムを知っているかどうかでいたい決まってしまうだろう。昨年度の高3 Advanced のテキストに登場していた。

## 【Ⅳ】

予想配点	10 / 90 点	時間配分の目安	6 / 90 分
出題内容	会話文 [Word 数] 121 語 [『でか単』『完熟』レベル] [『でか単』『完熟』共に PART 1 [長文テーマ] 客と駅員の会話 [長文内容] 切符の購入をめぐり、列車の遅延やイギリスの物価高について語っている。		
出題形式	空所補充(選択)・整序英作		
小問別難易度	※問題難易度：C 難問、B 可否を分ける問題、A 正答すべき問題、を示す 1 B 2 A 3 A 4 B		
お茶ゼミカリキュラム・テキストとの関連	Advanced レベル		

## ●解答のポイント&学習対策等

1～3は基本的な問題なので全問正解したい。4は難しい。合格者でも正答できない人が多いだろう。(4が4点。残りが各2点)

4の整序英作について解説しておこう。

この問題を解くにあたって最も要求度が高い知識は、back に「もとへ、逆戻りして」という意味があり、to + 場所という形と and で並列されることがある、ということだ。ex) a fare to Chicago and back 「シカゴまでの往復運賃」

次に、交換の for。これはお茶ゼミのテキストではどのレベルでも取り上げられている。ex) I bought this CD for 30 dollars. 「私はこのCDを30ドルで買った」

最後に、less に名詞用法があり、「より少ない数、量、額」という意味があること。これら3つの知識が問われていた。最初の back についての知識が特に難しいが、ダミーの選択肢はないので正解は決して不可能ではない。

## 【Ⅴ】

予想配点	20 / 90 点	時間配分の目安	15 / 90 分
出題内容	英作文		
出題形式	自由英作		
小問別難易度	※問題難易度：C 難問、B 可否を分ける問題、A 正答すべき問題、を示す B (満点をとるという意味では、本年の試験で間違いなく最も難しい問題である。しかし、部分点を		

稼ぐのは難しくないし、それが合否の分かれ目になるので、Bとした。)

## お茶ゼミカリキュラム・テキストとの関連

OSレベル。ただ、OSクラスに在籍していなくても、自由英作文を自分で何度も書き、講師に添削してもらおうという習慣があれば十分対応できる。

### ●解答のポイント&学習対策等

近年流行の自由英作文である。テーマは「スーパーでのレジ袋無料配布の是非」。語数の指定はなく、解答欄の大きさから判断するしかないが、80語～100語が目安である。自由英作文としては標準的な長さである。

ちなみに、問題に “It is suggested that you spend no more than 15 minutes on this section.” と注意書きがある。受験英語の知識では、no more than は「～だけ」と覚えるが、「～以下」の意味で使うこともあり、ここではその意味である。

さて、自由英作文という形式は、最近さまざまな大学で新たに出题されるようになった。気をつけなければいけないのは、与えられた日本語を英語に訳す問題とは別種の力を必要とするということだ。

書き慣れないうちは、「主張→理由1→理由2→結論」のような型をまもって書いてみるとよい。それだけでずっと得点できるはずだ。今回の問題は、まさにその型で書くよう受験者を誘導してくれている。英作文は自宅学習が最も難しい分野なので、お茶ゼミの講師の力を最大限に利用すると良いだろう。